

花王株式会社 すみだ工場見学

花王

参加者の声

KIRIN ツアー後、参加者の方々に感想をいただきました！

2017年度 第8回 学生企画エコツアー

事前ワーク → 見学・説明 → 事後ワーク

環境保全に力を入れている花王で、コアメンバーを中心にエコツアーを実施しました。エコについての知識を蓄えることができました。



<花王の環境への取り組み>

- ・花王の歴史、石鹸の歴史などの見学
- ・環境に配慮した製品の見学と体験 など…

LCA(ライフサイクルアセスメント)の中でも調達に力を入れる花王の取り組みについて伺い、LCAについて理解を深めました。

花王に向かうバスの中で、今回のテーマであるLCAについて学びました！

エコを重点に置いた工場見学を実施して頂き、担当者の方への質疑応答をしました！

<質問リスト>

- 力を入れる調達において、具体的に何をしているのか？
- なぜ調達に強いのか？
- トレーサビリティを重視する理由
- 他社に先駆けて環境配慮に…



まとめ

企業としての環境に対する取り組みについてのお話が勉強になった、工場見学が楽しかったという意見が多数ありました。身近な企業や商品の普段は消費者から見えないところを知る機会が参加者に好評でした。

企画メンバーより

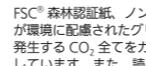
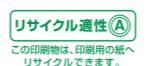
企画者7人がそれぞれ異なる意識や目的をもってエコツアー企画に携わりました。異なる人と1つのことを作り上げることは大変でしたが、その分、仲間の大切さに気付いたり、達成感を得ることができました。

企画・編集：NPO 法人アクションポート横浜 学生チーム
メンバー：有見、飯田、長浜、名切、丹羽、樋口、若林
URL：<http://actionport-yokohama.org>



氏名	具体的な取り組み	どのように環境に良いか	導入時の背景 (環境汚染など)	この取り組みを選択した理由 (導入時の思い、メリット等)	メモ
例	リターナブル瓶	容器製造時の環境負荷を低減できる、原材料資源の節約	循環型社会への意識向上	商業施設で多く使われる瓶に対して環境負荷低減の取り組みをしたい	課題：リターナブル瓶の普及が減少している
例	FSC認証紙	産産地の生態系に配慮しているため、生態系の破壊につながりにくい	森林破壊が深刻である	森林破壊を食い止めるわけではなく、環境保全と人間のエゴのバランスを保てる取り組みなので	Forest Stewardship Council 森林管理協議会が評価・認証

目の前の情報をうのみにせずに自分で考える力をつけるため、事後ワークをしました！



FSC® 森林認証紙、ノンVOCインキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂全てをカーボンオフセット (相殺) した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。また、読みやすさに配慮した書体を使用しています。



主催：公益財団法人横浜市資源循環公社
NPO 法人アクションポート横浜

横浜で環境活動をしていたり、環境に興味のある学生が、(公財)横浜市資源循環公社と協力して環境問題に取り組む現場を見に行くツアーです。
毎年学生を中心に企画しています！

エコツアーとは？

エコツアーの素敵な関係♪



0 きっかけ (2月)
大学の授業を受けて、ペットボトルのリサイクルが環境に良いのか、疑問に思った。本当にエコなことを知りたい、得た情報を鵜呑みにしてしまう現状を改善したい、という思いでエコツアー企画を決意した。

1 企画書作成、参加者募集 (2月)
抱いた疑問をもっと多くの人に考えてもらいたいという思いで作成

2 行先探し (3月)
花王、キリンを行先に決定した。

3 会議 (4月~)
企画メンバーと目的を達成するためにはどのようなツアー内容にしたらいかが案を練った。

4 花王ツアー

5 下見 (7月)
見学先企業との打ち合わせを行った。

6 キリンツアー

7 反省会 (9月)
企画メンバーで今回のツアーについて振り返った。

2月 3月 4月 6月 7月 9月

今回のエコツアーテーマ
ペットボトルに関しては、リサイクルにも大量のエネルギーを使う、という現状が多くの方に知られていないために誤解や思い込みが生じているのではないかと思います。そこで、得た情報について自身で「どうして？見えないところは？」と考えればいいのかと思いました。今回のエコツアーの目的は「情報のウラを考えられるようになること」に設定しました。また、テーマは「LCA」としました。
LCAとは、ある製品や取り組みの見えない情報の裏も考慮して本当に環境に良いかを評価する考え方のことで、今回達成したいことのテーマにぴったりだと感じました。

KIRIN

キリンビバレッジ 湘南工場見学



午前中は、この日学ぶ内容の肝となる「LCA(ライフサイクルアセスメント)とは何か?」ということを知ってもらうことから始まり、本当のエコについて参加者の方に考えて頂く時間となりました。また、「なぜ?」という疑問その気持ちを工場見学をする際にできるだけ多く持って行ってもらうため、参加者にたくさん考え、議論して頂きました。

テーマであるLCAについて講義を行いました。LCAとは何か、LCAのはじまり、実際の使用法についてプレゼンテーションと追加の資料配布で知識をつけてもらいました。

「どちらの製品のほうが環境に良いか考える」グループワークを通して消費者には見えない情報の裏を考えてもらいました。

LCAとは?
ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment) ライフサイクルの中でどのくらい環境に悪影響を与える物質が排出されているのかを調べる方法

一連の流れ-ライフサイクル

(公財)横浜市資源循環公社からペットボトルのリサイクル効果について、また、地球環境問題・資源問題を専門としている大学の教授より日本の食料自給率や消費者としての選択についてお話していただきました。

お昼は、地産地消にこだわりを持つ横浜うお時のお弁当。これと関連づけて、地産地消という視点から環境や見えない現場を考えるプレゼン、ワークを行いました。また、横浜うお時の渡邊社長よりお弁当製造業者からの視点で地産地消について熱く語っていただきました。

KIRIN



午後はキリンビバレッジ湘南工場で「午後の紅茶」の製造工程やペットボトルのできる瞬間を見させていただきました。また、CSV担当者の方のお話を聞き、原料調達段階など工場では見ることのできない環境に配慮された取り組みを知ることもできました。事後ワークでは自分が飲料商品を作る時にどのような工夫をするか話し合いましたが、たくさんのユニークなアイデアが出され、聞く事だけではなく自分事に落とし込みました。

普段消費者からは見えないため想像しにくい製品が生産される過程を見学しました。情報のウラを考えるということに関してとても重要な経験でした。ここで参加者が感じた驚きは用意したシートにメモしてもらいました。

ツアーのメインでもあるCSV担当者様のお話。企業の視点から環境配慮について、一見良かれと思われるが実は...という取り組みについてもお話していただきました。

最後は、当日に得たことをそのまま鵜呑みにしないため、「本当にエコなこと」とは何だろう、自分だったらどうするかについてグループや全体で話し合うことで自身の感じたことと向き合ってもらいました。